

麦類作柄解析試験（平成27年産） 福島県農業総合センター  
8/3現在

表1 生育ステージ

地域	品種名	年次	播種期 (月日)	出芽期 (月日)	苗立本数 (本/㎡)	幼穂形成 始期 (月日)	節間伸長 開始期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)
本部 (郡山)	ふくあかり	本年	10/20	10/28	214	1/26	3/21	4/23	6/04
		前年	10/18	10/25	158	1/21	3/27	4/28	6/06
		準平年	10/18	10/25	180	1/28	3/24	4/28	6/10
		準平年差比	2	3	119	-2	-3	-5	-6
	きぬあずま	本年	10/20	10/28	207	2/01	3/24	4/24	6/08
		前年	10/18	10/28	168	1/20	3/24	5/01	6/10
準平年		10/19	10/27	196	1/28	3/24	5/04	6/15	
	平年差比	1	1	106	4	0	-10	-7	
ゆきちから	本年	10/20	10/28	206	3/17	4/02	4/30	6/12	
	前年	10/18	10/28	131	3/05	4/06	5/05	6/13	
	準平年	10/19	10/27	183	3/10	4/9	5/08	6/19	
	平年差比	1	1	113	7	-7	-6	-7	
会津 (会津坂下)	ゆきちから	本年	10/3	10/10	187	4/02	4/19	5/11	6/15
		前年	10/4	10/11	199	3/26	4/11	5/11	6/17
		準平年	10/4	10/10	177	3/31	4/17	5/16	6/22
	平年差比	-1	0	106	2	2	-5	-7	
浜 (相馬)	きぬあずま	本年	10/27	11/8	198	2/18	3/25	4/26	6/09
		前年	10/30	11/7	184	2/20	4/02	5/04	6/16
		準平年	10/27	11/5	178	2/11	3/24	5/05	6/20
	平年差比	0	3	111	7	1	-9	-11	

※平年値は過去5年分の平均、準平年値(ふくあかり)は過去2年分の平均

郡山：3月、5月の高温の影響で、節間伸長開始期、出穂期および成熟期が早まった。  
会津坂下、相馬：5月の高温の影響で、出穂期および成熟期が早まった。

表2 成熟期の生育と収量

地域	品種名	年次	稈長 (cm)	穂長 (cm)	有効穂数 (本/㎡)	総実粒数 (粒/穂)(百粒/㎡)	容積重 (g/l)	千粒重 (g)	上麦重 (kg/a)	検査等級 (1-7)	倒伏 (0-5)	
本部 (郡山)	ふくあかり	本年	77.4	7.4	480	26.5	127	770	35.5	44.5	6	0.0
		前年	72.1	7.3	524	34.8	175	780	38.6	68.9	2	0.0
		準平年	75.0	7.2	577	34.2	195	800	37.0	67.9	4	0.0
		準平年差比	103	102	83	77	65	96	96	66	-	-
	きぬあずま	本年	81.0	7.8	565	26.6	148	787	36.7	53.7	3	0.0
		前年	72.2	7.9	606	33.7	208	780	40.1	82.3	2	0.1
準平年		75.0	7.9	588	34.6	203	797	36.7	70.2	3	0.3	
	平年差比	108	98	96	77	74	99	100	77	-	-	
ゆきちから	本年	79.5	9.9	543	26.7	145	782	35.0	50.3	6	0.0	
	前年	76.2	9.0	547	34.7	179	764	38.3	72.7	2	0.1	
	準平年	82.1	8.8	608	29.0	174	785	37.5	60.8	4	0.2	
	平年差比	97	112	89	92	83	100	93	83	-	-	
会津 (会津坂下)	ゆきちから	本年	76.0	8.5	419	25.0	105	843	39.7	40.9	3	0.0
		前年	78.9	8.1	300	25.0	75	833	39.3	27.6	1	0.0
		準平年	86.8	8.4	412	22.0	91	-	37.7	32.3	4	0.1
	平年差比	88	101	102	114	116	-	105	127	-	-	
浜 (相馬)	きぬあずま	本年	81.2	8.5	522	36.1	188	798	38.0	71.5	2	0.0
		前年	83.1	8.4	504	35.5	179	-	37.4	66.9	3	0.8
		準平年	87.2	8.4	613	33.9	208	-	37.4	76.2	3	0.5
	平年差比	93	101	85	106	91	-	102	94	-	-	

※平年値は過去5カ年の数値を使用。

※四捨五入の処理上、数値の合わないところがある。

郡山：12月～1月1半旬の低温により、茎数が減少する傾向が見られ、有効穂数は平年より少なくなり、また、1穂粒数の減少により低収となった。

会津坂下：平年より根雪日数が48日長かった。

稈長が平年より短くなったが穂長および有効穂数は平年並みであった。

1穂粒数と千粒重の増加により収量は増加した。

相馬：12月の低温により茎数が減少する傾向が見られ、有効穂数は概ね平年並みであった。